

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2021年 No.404

発行：医療生協さいたま
埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

TEL.0570-00-4771

ホームページ：<https://kyoudou-hp.com/>

6

第2病院(仮称)エントランス



レストラン虹の森

本院エントランス



本院外観



第2病院(仮称)外観



(掲載CGIは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。提供：竹中工務店)

埼玉協同病院リニューアル・新病院建設 2021年12月着工です

いよいよ当院のリニューアル・新病院建設の基本設計が決まり、12月着工に向け動き出しました。第2病院(仮称)は2023年度中のオープンを予定しています。

救急医療・がん診療を強化した新しい本院と、地域包括ケア病床を新設し、在宅医療や健康増進センターを強化した外来中心の第2病院(仮称)で『地域包括ケア時代に輝く病院』を目指します。

工事期間中は、患者様、組合員の皆さんにもご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願ひします。

初夏のココロキャンペーン

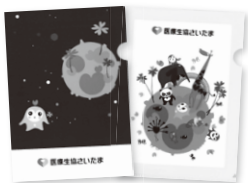
病院リニューアル・ 新病院建設増資に ご協力を

日頃から埼玉協同病院をご利用いただきありがとうございます。

医療生協さいたまキャラクター
ココロ星にくらすココロ

いよいよ今年12月に、病院リニューアル・新病院建設に着工いたします。組合員さんと一緒にかかりやすい病院を目指して建設を進めていきます。

埼玉協同病院では建設に向けた「初夏のココロキャンペーン」を6月30日まで実施します。キャンペーン中に2口以上の増資にご協力いただいた皆様へA5サイズのクリアファイルをさしあげます。



現在、新型コロナウイルスの感染拡大に不安を感じている方も多いかと思ひます。職員も感染の危険と隣り合わせの中、患者さんに安心して医療を受けていただけるよう感染防止と医療継続のため全力を挙げて取り組んでいます。

出資金は病院で働く職員を支え、みなさんの健康と、貴重な財産である事業を継続発展させるための資金となります。是非増資にご協力をお願いいたします。

なお、出資金は寄付ではありません。減資や脱退の際は定款に従いお返しいたします。



こちら

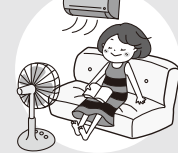
HPH

※ HPHは、健康増進を患者様・地域住民・病院職員にすすめていくWHO(世界保健機構)が推奨する国際的な病院ネットワークです。

そろそろ 熱中症対策はじめましょう

熱中症とは、高温の環境で体内の水分や塩分が減少し、臓器が高温にさらされることによって起きる障害のことです。体温の上昇、めまい、だるさ、吐き気、ひどいときにはけいれんや意識の異常など、さまざまな症状をおこす病気です。高齢者や乳幼児、もともと持病のある方、体調が悪いときは熱中症になりやすいため、特に注意が必要です。体が暑さになれるまでに1週間程度かかるといわれていますが、日によって急激に気温が上がる今の時期は、体の調整機能が対応できず、熱中症を発症する危険があります。マスクをつけていて喉の渇きに気づかない「かくれ脱水」をおこすこともあります。「まだ6月だから大丈夫」「家の中だから大丈夫」と過信せずに、対策をはじめましょう。

室内の注意点



- すだれや緑のカーテンで部屋を日陰にして室温の上昇をおさえましょう
- 窓から入る太陽光はカーテンなどで遮断し、エアコンや扇風機を効果的に使いましょう
- 外から帰ってきて、部屋の空気が外気よりも暑いと感じたときは、まず窓を開けて換気を行いましょう

熱中症予防の5か条

5

周囲への
気づかいを



4

衣服の
工夫をする



3

水分補給
こまめな



2

温湿度計で
自宅の危険度を
知る



1

気温の高い日・
時間帯の外出や
運動はしない



